

# 平成31年度学校自己評価システムシート (県立八潮南高等学校)

|        |  |
|--------|--|
| 目指す学校像 | 変化の激しい社会の中であっても自ら考え、自らの力で懸命に人生を切り拓き社会の即戦力として地域社会に貢献していく人材を育成する学校 |
|--------|--|

|      |  |
|------|--|
| 重点目標 | 1 基本的な生活習慣の確立、挨拶の励行、規範意識の醸成等を通じて、規律を守り、礼儀正しく、品格と思いやりのある生徒を育成する。<br>2 基礎基本の習得を徹底するとともに、主体的な学びを通じ、自らの考えを表現する力を育成する。<br>3 生徒の様々な活動を地域社会に積極的に情報発信することにより、「八潮南高校」ファンを増やす。 |
|------|--|

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上)  |
|     | B | 概ね達成(6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し(4割以上) |
|     | D | 不十分(4割未満)   |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |    |
|-----|----------|----|
| 出席者 | 学校関係者    | 8名 |
|     | 生徒       | 3名 |
|     | 事務局(教職員) | 8名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 |  |                              |   |  |   |     |   |
|-------------|--|------------------------------|---|--|---|-----|---|
| 年 度 目 標     |  |                              |   | 年 度 評 価 ( 1 月 2 0 日 現 在 )  |   |     |   |
| 番号          | 現状と課題  | 評価項目                         | 具体的方策   | 方策の評価指標  | 評価項目の達成状況   | 達成度 | 次年度への課題と改善策   |
| 1           | 心の通う毅然とした生徒指導及び学校行事・部活動の活性化により、落ち着いた雰囲気の中で生徒は学校生活を過ごしている。<br>その一方で、自己有用感の低い生徒も散見され、学校生活における充実度をより一層高めていくことが課題となっている。<br>また、自転車通学の生徒が約95%を占めており、交通安全指導の充実が喫緊の課題である。 | ①学校生活における生徒の充実度を向上させる。       | <ul style="list-style-type: none"> <li>補習等により伸びる生徒を伸ばす指導を推進する。</li> <li>学校行事や生徒会活動、部活動等の体験的な活動を充実させる。</li> <li>大会やコンクール等に積極的に参加し活躍の場を増やす。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>表彰された生徒数及び資格取得生徒数</li> <li>部活動の定着率</li> <li>生徒アンケートで「充実している」と回答した生徒の割合</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>表彰者数及び資格取得者数は高い水準。</li> <li>全校表彰件数は34件で受賞者は延べ110名、全体の16.3%である。(3/16現在)</li> <li>資格取得者数(3/16現在)は、               <ul style="list-style-type: none"> <li>(全商)情報処理1級7名、(全商)簿記1級16名合格</li> <li>数学検定準2級2名合格</li> <li>漢字検定2級1名・準2級9名</li> </ul> </li> <li>部活動定着率は高水準を維持。</li> <li>11月時点での加入率85.1%で前年度と同水準。定着率94.3%</li> <li>高校生活の充実度は高水準を維持している。</li> <li>アンケートでは「どちらかといえば」までを含め「楽しく充実している」と回答した生徒は75%に上る。</li> </ul> | A   | ①本校には各分野で高い能力を持った生徒が一定数在籍しており、学習に困難を抱えた生徒と同様、個別指導等を通じて各々の力を伸ばす取組が必要である。そのためには、平均点だけでなく、度数分布等をもとに実態把握をしたい。また、部活動では他校での先進的な取組があれば積極的に導入し、生徒の力を伸ばすとともに部活動への一層の定着を図りたい。<br><br>②今年度は「安全マップ」の作成とKYTによる指導を導入した。また10月から1回「一斉指導」を導入し、範囲を広げ学校全体で組織的に交通安全指導に取り組んでいる。次年度は指導のさらなる充実に取り組みたい。 |
|             |  | ②交通マナーを向上させ交通事故を減少させる。       | <ul style="list-style-type: none"> <li>他校の先進的な実践を取り入れた交通安全指導を充実させる。(安全マップ、一斉指導、KYT&lt;危険予測訓練&gt;等)</li> <li>委員会活動等、生徒が主体的に参画した交通安全指導を実施する。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故件数の減少</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動定着率は前年度と同水準。</li> <li>・事故は13件であり、昨年度に比べ若干増加した。(3/16現在)</li> </ul>  | B   |   |
| 2           | 学力検査等の状況を見ると、入学時点で中学校段階の基礎学力が十分に身につけているとはいえない状況である。<br>新学習指導要領の実施を控え、「主体的・対話的で深い学び」をより一層推進することで生徒の学力を伸ばし、進路希望の実現につなげていく必要がある。                                      | ①授業におけるイノベーションを推進する。         | <ul style="list-style-type: none"> <li>YMP(八潮南プライド)プロジェクトを推進し、「学力・人間力・社会人基礎力」の育成に取り組む。</li> <li>授業公開や授業研究を通じて教員相互の学び合いの場を増やす。</li> <li>通級指導モデル校研究の成果を普及・定着させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○協調学習やユニバーサルデザインの視点を生かした豊かな学びに関する授業研究等の充実度(実施回数等)</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教員相互の学び合いは増加・充実傾向。</li> <li>・授業公開週間における授業見学回数は延べ73回。ビデオ撮影による授業研究10名(全体の22%)で実施。</li> </ul>  | A   | ①ICT機器の活用や話し合い活動など対話的な学びを取り入れることで、旧来の一方通行型講義からの脱却を図ってきた。次年度は授業研究を充実させ、学びの質を高めていきたい。<br><br>②進路内定率は高水準を維持している。景気が下降しても就職先を確保できるよう、地域の企業等との繋がりを強化し、様々な取組を進めたい。また、進学については大学で通用する学力の定着を図りたい。  |
|             |  | ②進路希望実現状況を向上させる。             | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路説明会や面接指導等を充実させる。</li> <li>「進路ノート」を活用する。</li> <li>新規進路先の開拓を進める。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○進路内定率95%以上</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○進路内定率は高水準を維持</li> <li>・内定率は96.3%。(3/16現在)</li> <li>・八潮市役所に2年連続で内定</li> </ul>  | A   |   |
| 3           | 市内の小・中学校との交流の機会が増え、地域連携が充実してきたが、専門学科の良さが十分に伝わっていない状況である。また、平成30年度入試では募集定員を確保できなかった。<br>上記を踏まえ、魅力ある情報の発信が必要不可欠である。  | ①中学校や保護者、地域等に対する魅力ある情報を発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>本校の魅力や商業教育の良さについて、ホームページや学校説明会、出前授業等のあらゆる機会積極的に発信する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページの更新回数及びアクセス数の増加</li> <li>○募集定員の確保(入試倍率1.0倍以上)</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力発信は充実傾向(3/16現在)</li> <li>・前年に比べホームページの更新回数は152回で28.8%増、アクセス数は134,440回で74.2%増。</li> <li>・募集定員確保(1.0倍)。</li> </ul>  | A   | ①本校の取組についてはテレビ報道(3回)や新聞報道(10回)で取り上げられるなど、魅力が積極的に発信されてきた。<br><br>②今年度途中からメール配信システムを導入し、重要な連絡を配信してきた。PTAの協力を得ながら、引き続き魅力ある学校づくりに取り組みたい。  |
|             |  | ②本校入学に対する保護者の充足度を向上させる。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>PTA後援会活動を通じて、積極的に広報を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○本校に入学させてよかったと感じる保護者の割合(入学満足度90%以上)</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者の入学満足度は向上</li> <li>・「入学させてよかった」と感じている保護者の割合は前年度の85%から92%に上昇。</li> </ul>  | A   |   |

| 学 校 関 係 者 評 価   |           |
|---|-----------|
| 実施日   | 令和2年1月31日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等   |           |
| <p>全校表彰される生徒数を評価指標にするのは大変良いことである。ロータリークラブの表彰で今までで初めて表彰された生徒の喜ぶ姿を見て、こうした場がもっと増えることを期待しているし、この指標について、さらに注視して欲しい。</p> <p>学校生活を面白く思っていない生徒についても支えてあげてほしい。</p> <p>交通事故件数はない方がよいが、現状で9割超の生徒が自転車を利用していていることを考えると、事故件数だけで評価するのは難しいと思われる。数字にするのは難しいが、事故の内容や交通マナーの向上についても考慮すべきである。引き続き粘り強く指導に取り組まれることを期待している。</p> |           |
| <p>3年間の専門教育を通じて生徒が身に付けたプレゼン能力は見事である。今後も発表できる場を増やすとともに、こうした力を卒業後にぜひとも生かしてほしい。</p> <p>好景気に支えられ、就職状況は良好だが、景気が下降してもしっかりと就職先を確保できるよう地域と結びついた様々な取組をしてほしい。</p>   |           |
| <p>学校の魅力は、生徒同士や保護者の口コミなどで伝わるのが案外多い。生徒が地域に出向いて活躍している姿が評価されるのではないだろうか?引き続き積極的な魅力発信に努めてほしい。</p>  |           |